

指導案◆ ☆☆高等学校・1～2年生

【社会（公民、現代社会、政治・経済）、情報、家庭科、総合的な学習、特別活動、国語】

タイトル 「あなたは、どう考える？」

- “インターネット実名制（インターネットの書き込みをするには、実名で、かつ、マイナンバーカードで本人確認ができた人しか出来ない仕組み）” って賛成？反対？

～調べてみよう！実名制導入の議論が出てきた理由。考えてみよう！折り合うための方策？！～

目標（授業のねらい） 問題の所在を知り、立場によって意見が異なることを知り、双方の言い分を踏まえながら、課題を解決するために、いかなる方策が可能かを考えながら、現実的な問題を解決する能力、合意形成の能力を養う（→ひいては、表現の自由が民主主義にとって、如何なる意味で重要なのかを知り、他方で、新たな人権問題が起こっていることを踏まえ、解決策を見出す態度を養う）。

内容（教材） 誰もが「匿名」で、ネット・SNSで自分の意見や考え、思いを簡単に発信できるようになった現代。他方で、「匿名」であるがゆえに、デマや流言、ヘイトスピーチを含む誹謗中傷の書き込み、炎上も後を絶たない。（隣国である韓国で（かつて）導入されたが違憲という判断が出た後、最近、導入は不可避との議論も浮上している）（実名制）導入の可否を議論することで、そもそも背景にはいかなる問題状況があるのか、生徒にとっても日々の暮らしの上で比較的身近で考えやすいテーマを素材に、なにゆえに、そのような議論が出てきているのか、賛成派・反対派に分かれて意見を出し合い（立場討議）、問題・争点の所在を探り、次に、その解決のための方策・対案はないのか、を班活動で考え、発表する。

方法 以下の展開（授業進行案）の通り。アクティブラーニングの手法を用いる。

（事前の準備）

・問題状況を記したプリント（ワークシート）を事前に配付しておき、予め、どうしてそのような問題が起こったのか、個人で調べたり考えたりしておく。

（用意するもの）

- ・バカッター、フェイクニュースなどの実際の画像を用いた事前プリント（個々人）
- ・模造紙、マジック（各班の分）。あればホワイトボードも
- ・資料等（個々人もしくは全体で）

（展開（60分授業の進行案））

*GTとはゲストティーチャー（弁護士）を指す

段階	学習活動・内容	教師○、GT●の役割	時間配分
導入	1 あいさつ	○GTの紹介。●GTの自己紹介 +アイスブレイク。本時のねらいについて簡単に説明する。「正解」を求めるものではないこと等を告知。	6分
展開①	2 実名制を導入することについて、賛成派と反対派に分かれ、数人ずつが前に出て、それぞれの立場になりきって、意見を発表する（なぜ、その立場にたつのか理由・問題状況の分析など。） 発表の様子を聞いた他の生徒は、補足意見や付け加えの意見を発表する。	○発表された意見を板書ないし模造紙（賛成派・反対派につき各々1枚ずつ）に書き出す（箇条書き程度）。 *生徒にやってもらってもOK！ ●GTが適宜、フォローする。	11分
展開②	3 賛成派は反対派の意見を受け、反対派は賛成派の意見を受け、それぞれ、反論や根拠の付け加えなどが出来ないか更に考え、発表する。	●GTが適宜、フォローする。 （適宜、板書←板書は、生徒にやってもらってもOK）	5分
展開③	4 以上の議論を踏まえ、賛成・反対のいずれの立場をとるかを含め（全員一致になる必要なし。票の分かれ具合を記録する。）、問題の所在に気付いたら、それを解決するためには具体的に、どのような方策があり得るか、その場合の課題や問題点は何かも意識しながら、班に分かれて話し合い、その結果を、根拠もまじえて模造紙に書き込む。 5 自分の班の議論状況を発表する。 （*生徒全員がジャッジ（班）として。発表は、予め選んでいたジャッジ班から始める）。	○班の割り振りなど指示。 ○模造紙を張り出す作業の手伝いなど。 ●机間巡視（議論を揺さぶる等々） ●GTによるコメントやフォロー。	12分 （話し合い &書き込む作業） 15分 （発表）
まとめ	6 発表内容に対するGTのコメント。 （時間があれば生徒による感想発表も。） 7 質疑応答	●GTによる総括（韓国での議論状況なども含め）幾つかの実際の事件と裁判（判例）についての説明も行う。	9分 2分